


地域に定着する放射線治療医養成 WG

領域 3 チームで取り組む緩和的放射線治療「特別講義 2」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域 3「チームで取り組む緩和的放射線治療」において、「特別講義 2」を開催しました。





Radiation Therapy Program Intensive Course

QRコード
単回受講申込フォーム

**単回受講可
参加費無料**

**次世代のがんプロフェッショナル
養成プラン**

放射線治療プログラムインテンシブコース
11月14日（金）18：30～19：50
特別講義 2（Zoom）
『がん患者に対する社会的サポート』
座長：岡野 奈緒子 前任准教授（順天堂大学練馬病院 放射線科）
順天堂大学医学部附属練馬病院 医療ソーシャルワーカー **馬場 太郎先生**
西村 菜月先生
ケアリッツ・アンド・パートナーズ サービス提供責任者／介護福祉士 **黒田 裕介先生**

📱 **がんプロ養成プランHP**   **お問い合わせ用フォーム**

対象者 看護師・診療放射線技師・薬剤師・医師など

連絡・問い合わせ先
順天堂大学放射線治療学講座
TEL.03-5802-1230（放射線科医局）
担当者 鹿間 直人、島村 彩子、遠藤 純子

このプログラムは文部科学省補助金事業
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
の助成を受けて開催致します

後援 順天堂大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

特別講義 2

11月14日（金）18：30～19：50（Zoom 開催）

テーマ「がん患者に対する社会的サポート」

講師：馬場 太郎先生、西村 菜月先生（順天堂大学医学部附属練馬病院 MSW）

黒田 裕介先生（ケアリッツ・アンド・パートナーズ サービス提供責任者／介護福祉士）

座長：岡野 奈緒子先生（順天堂大学医学部附属練馬病院）

要旨：がん患者に対する社会的支援制度について、ソーシャルワーカーの業務とその詳細、社会保障制度の基準や内容、それらの活用方法と問題点などについて説明があり、「どのような場合に、ソーシャルワーカーに相談することができるのか」といった実臨床に即した内容について解説いただきました。また、医療機関において医療ソーシャルワーカーが介入した事例をもとに、実際に提供できるサービスやサポートについても解説いただきました。該当症例は長期に渡り医療機関を中心に地域の包括支援センターも含め多職種で連携して関わった症例であり、従来の認識よりも多くの関わりが可能であることを学ぶことができました。

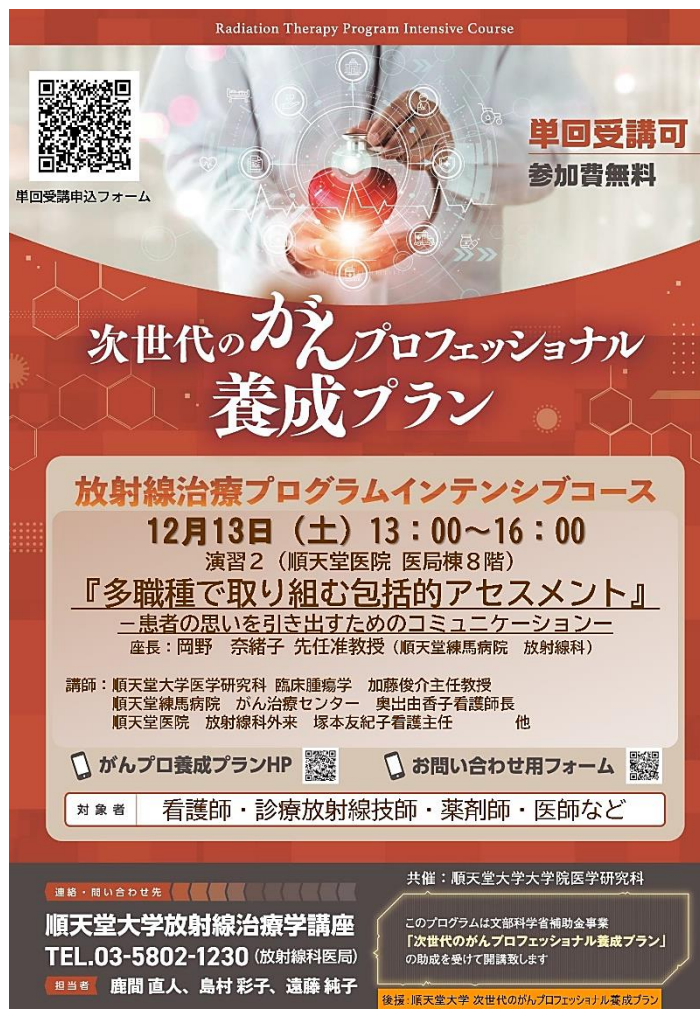
続いて後半では、在宅ケアの部分にフォーカスし、介護福祉士（ヘルパー）の視点から地域医療における介護福祉士の役割について、実際の介入事例をもとにどのようなことに配慮しながらサービスやサポート提供しているか、またその実態について解説いただきました。実際の患者さんの自宅での生活における問題点などについても理解でき、個々人に合わせたきめ細やかな対応がされていることを知ることができました。

参加者は 22 名でした。

地域に定着する放射線治療医養成 WG

領域 3 チームで取り組む緩和的放射線治療「演習 2」を開催しました

地域に定着する放射線治療医養成 WG が開講する、緩和的放射線治療・密封小線源治療・高精度放射線治療の質の向上と普及を担う人材養成コース
領域 3「チームで取り組む緩和的放射線治療」において、「演習 2」を開催しました。



Radiation Therapy Program Intensive Course

QRコード
単回受講申込フォーム

**単回受講可
参加費無料**

**次世代のがんプロフェッショナル
養成プラン**

放射線治療プログラムインテンシブコース
12月13日（土）13：00～16：00
演習2（順天堂医院 医局棟8階）
『多職種で取り組む包括的アセスメント』
ー患者の思いを引き出すためのコミュニケーションー
座長：岡野 奈緒子 先任准教授（順天堂練馬病院 放射線科）

講師：順天堂大学医学研究科 臨床腫瘍学 加藤俊介主任教授
順天堂練馬病院 がん治療センター 奥出由香子看護師長
順天堂医院 放射線科外来 塚本友紀子看護主任 他

がんプロ養成プランHP お問い合わせ用フォーム

対象者 看護師・診療放射線技師・薬剤師・医師など

共催：順天堂大学大学院医学研究科
このプログラムは文部科学省補助金事業
「次世代のがんプロフェッショナル養成プラン」
の助成を受けて開講致します
後援：順天堂大学 次世代のがんプロフェッショナル養成プラン

演習 2

12月13日（土）13：00～16：00（順天堂医院 医局棟8階）

テーマ「多職種で取り組む包括的アセスメント-患者の思いを引き出すためのコミュニケーション-」

プログラム担当：塚本 友紀子先生（順天堂医院/放射線科外来 看護主任）

ファシリテーター：山口 裕香先生、小玉 直子先生（順天堂医院）

奥西 桃子先生（順天堂大学医学部附属浦安病院）

<スケジュール>

- ・オリエンテーション/ファシリテーター紹介/参加者紹介
- ・講義①「放射線治療現場における意思決定支援」岡野 奈緒子先生（順天堂練馬病院 医師）
- ・アイスブレイク [もしばなゲーム]
- ・グループワーク①「前立腺癌骨転移の70代男性」のケース
- ・講義②「意思決定支援」奥出 由香子先生（順天堂練馬病院 看護師）
- ・グループワーク②「乳房緩和照射の60代女性」のケース
- ・講義③「がん患者とのコミュニケーション」加藤 俊介先生（順天堂医院 腫瘍内科医）

要旨：もしばなゲームをきっかけにグループメンバーのコミュニケーションを図りました。

講義では、日常的に接するケースに対応する中で、どのような視点や考え方、捉え方があるのか、医療者の立場での考え方を学びました。

その後、具体的な状況を設定したケースをもとに、包括的な視点でのアセスメントを実践し、各グループ内で患者さんの発した言葉の背景や思い、必要としているサポート、医療者ができる声かけ、などについて多職種で構成されたグループ内で話し合い、その結果について全体で発表し共有しました。職種によって、また参加者自身の背景や年齢、これまでの経験なども踏まえた多様な意見交換を行うことができました。参加者は16名でした。

